



市民が主役の まちづくり

高橋市長就任あいさつ

決意を新たに

留萌市長の就任にあたり、ひと言いさつ申し上げます。
このたび、多くの市民の皆様温かいご支援を賜り、ふるさと留萌市政をおあずかりすることとなりました。
市民の皆様大きな期待を思いつとき、その責任の重さを痛感するとともに、市民の皆様の一層の幸せと留萌市政発展のために、精魂を傾ける決意を新たにいたしております。
私は、これまで4期15年北海道議会議員として、道政の場において留萌の発展のため努力してきました。
その道議時代に培った中央や北海道との人や情報のネットワークを活かしながら、この光栄ある任務に向かつて全力をあげて取り組んでいく決意であります。

このたび退任されました長沼前市長には、3期12年にわたり、留萌市の発展のため、ご尽力いただきましたことを、市民の皆様とともに心から感謝を申し上げたいと思います。
さて、今日の地方自治体を取り巻く環境は、市町村合併、地方分権と権限移譲、三位一体改革、支庁制度改革、そして道州制特区など、地域自らが考え行動し、解決していかなければならない多くの課題を抱え、難しく厳しい時代を迎えております。

留萌市におきましても、財政の危機的状況乗り越え、自主再建を目指すため、

安心・安全な地域づくり

市立病院がおかれている危機的な経営状況を回避するため、医師の確保と健全経営に取り組みます。
高齢者や障害者に生きがいを感じられる地域づくりと安心して子育てができる環境整備に取り組んでいく考えであります。

歴史、文化の継承、新たな地域文化の発信

多くの先人が築き上げてきた歴史や文化を伝える拠点の整備と、スポーツを通じ心と体を鍛える留萌の子供たちがそれを学び郷土愛を大きくむ施策に取り組んでいく考えであります。

留萌再生への一歩

これからの市政に取り組む私の基本的な考え方について申し上げます。
留萌再生のため、市民の皆様とともに、職員と一丸になって、一歩一歩着実に取り組んでいきたいと思っております。

市民の皆様と関係各位のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

留萌市長

高橋定敏

五つの基本政策

今後の市政運営にあたり、次の五つの柱を基本政策として、その実現に努めてまいります。

財政再建策の実行

将来を見据え、しっかりした財政基盤を確立するため、昨年策定した財政再建計画に基づき、政策決定に取り組んでいく考えであります。

地域コミュニティの再生

高齢者にやさしく安心して暮らせる地域コミュニティを確立するため、中心市街地を核に居住人口の増加策・公共施設の誘導など、効率的でコンパクトなまちづくりに取り組んでいく考えであります。

地域経済の活性化

留萌市の将来を展望したとき、地域経済の活性化が最も重要な課題の一つであります。
経済界との連携を強め、留萌港の利活用をはじめとして、活力ある商店街づくり・食と1次産業を結びつけた地域振興・雇用の確保・観光拠点の整備などに取り組んでいく考えであります。

昨年、財政再建計画を策定いたしました。この困難を乗り越えるために、激変する社会環境に即応できる行政構造の確立と改革により、進むべき道を明らかにしなければなりません。
まずは、市民一人一人が本当のことを知ることから、すべてが始まります。まちづくりの主役は市民です。市民が主役のまちづくりを進めていくことにより、確かな未来が開かれると私は信じております。

子供の笑顔が広がるまちに

現在の社会構造の中で、社会の基本を形成しているのが、家族です。
しかし、核家族化や生活の多様化が進み、家族の絆は薄らいできていくように感じます。

子供をばくむ家庭や地域社会、学校などの荒廃を示す事件が後を絶たず、子供たちの笑顔が消えつつあります。子供の笑顔は幸せな家族づくりから始まります。

市民と市役所が一緒になって、家族を支える経済基盤の安定と家族の連帯感の回復のために、そして、温もりのある家族の絆を再生するために、努力していきたいと思っております。

市政執行の基本理念

市政執行の基本理念として、「信頼され

高橋 定敏(たかはし さだとし)
年齢 55歳
経歴 北海道議会議員(4期)、北海道議会水産林務常任委員、同建設委員会理事、同北方領土対策特別委員会委員長、同保健福祉委員会理事、同建設常任委員会委員長
座右の銘 「行雲流水」
空に漂う雲、流れる水のように自然の境遇に身をゆだねて生きること
趣味 登山、バードウォッチング

